

## 消化器内科

### 消化器内科の方針

患者さんの権利を尊重し、安全と感染予防に努めつつ、最新の医療を実践します。各疾患の治療方針は各疾患の診療ガイドラインを準拠しつつ、カンファレンスを通じて主治医のみならず同科・他診療科の医師とも相談の上、各々の患者さんの意志を尊重して決定します。治療を開始する際には、十分な説明を行った上、患者さんや御家族の同意のもとに行います。

#### 基本方針

1. 救急患者を積極的に受け入れ、常に質が高く、安全かつ低侵襲な治療を実践する診療科を目指します。
2. 地域医療への貢献をめざし、救急患者の受け入れに必要な入院病床の確保に努めます。
3. 退院後の患者さんの生活の質を高めるため、他診療科および他部署との連携を密に行い、早期の社会復帰を目指します。
4. さらに臨床実習医学生・臨床研修医の教育・指導や専門医取得への指導も担っていきます。

### 主な検査および治療

当科は、日本消化器病学会認定施設で、消化器管（食道、胃、大腸など）と肝臓、胆嚢、膵臓等を含めた消化器疾患を扱っています。特に積極的に実施しているものは、次のとおりです。

- ・ 消化管出血に対する診断と内視鏡治療（上部消化管、下部消化管、中部消化管：小腸）
- ・ ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術（食道、胃、大腸））
- ・ 超音波内視鏡（消化管、胆・膵）、FNA（超音波内視鏡ガイド下穿刺）
- ・ 小腸内視鏡（カプセル内視鏡・ダブルバルーン小腸内視鏡）※詳細は下記をご覧ください。
- ・ 胃・十二指腸潰瘍のヘリコバスター・ピロリ菌除菌療法
- ・ B、C型慢性肝炎に対するインターフェロン療法、抗ウイルス薬療法

- ・ 癌化学療法（主に胃、大腸、膵臓、胆道系悪性腫瘍に対する）
- ・ 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の診断、治療
- ・ 内視鏡治療（食道静脈瘤結紮、胃・大腸ポリープ切除、粘膜切除、内視鏡的乳頭括約筋切開術、閉塞性黄疸ドレナージ等）
- ・ 肝癌に対する肝動脈塞栓術（放射線科）、ラジオ波